

平成27年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

作成日：平成28年9月15日

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、亀田図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名： 亀田図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
ネットワーキングを強化した図書館	◇全館共通評価項目	課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。 ・レファレンス関係の研修会参加 ・レファレンス件数 3,706件(前年度比49.5%増)	・レファレンス研修への参加や職員間の情報共有などを通して、市民の課題解決対応内容の向上に努めた。	3 大変評価する。80% 2 ある程度評価する。20% 1 評価できない。0%	・図書館の入口となる大切な機能。来館者の意向をしっかり引き出し、書籍等の有効活用を図ってほしい。 ・件数の増加は、利用者に浸透していることの表れ。 ・利用者からの質問にスムーズに答え、行動していて頼もしく思う。 ・件数の大幅な増加は、対応が速やかで丁寧なことの裏付けと思われる。私が聞いた時も迅速だった。 ・継続を。
	◆館の重点評価項目	生活課題解決のための情報提供	・関係機関、団体等の協力を得ながら事業を実施し、企画展示を行うなど、市民の生活課題の解決に資する。 ・【新規】ビジネスセミナー 12人参加 ・【新規】行政書士無料相談会 2人参加 ・上記関連資料の企画展示	・関係機関と連携して事業を実施し、生活課題解決の機会を提供した。	3 大変評価する。40% 2 ある程度評価する。60% 1 評価できない。0%	・利用者からの質問にスムーズに答え、行動していて頼もしく思う。 ・セミナーや相談会を、図書館主催で行うのは素晴らしいと思う。 ・継続を。
特色ある地域づくり図書館	◇全館共通評価項目	地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。 ・地域資料の収集、整理及び展示	・地域資料の積極的収集に努め、展示などを通して利用者に提示した。	3 大変評価する。60% 2 ある程度評価する。40% 1 評価できない。0%	・テーマを設けた資料収集が大切。亀田図書館の特色になると思うのでぜひ検討してほしい。 ・「実施結果」に具体的記述がなく、判断が難しい。 ・区の特色を浮き上がらせる努力をしている点は評価する。 ・排水路公園の短歌を冊子にして、短歌に親しみやすくしているのは良いことと思う。 ・継続を。
	◆館の重点評価項目	俳句資料の収集・保存及び活用	・俳句資料の収集、整理 ・地域ゆかりの俳人、歌碑の写真資料展示 ・俳句をテーマにした文化講演会開催 77人参加 ・『「おくのほそ道」越後路の旅』講師：金森敦子氏 ・中学生俳句作品展示会 99首展示、1,061人来場	・地域ゆかりの資料展示や俳句をテーマとした講演会の開催により、新潟の俳句の歴史について理解を深める機会を提供した。 ・中学生の俳句作品を広く市民に公開し鑑賞してもらうことで俳句への関心を深めることができた。	3 大変評価する。100% 2 ある程度評価する。0% 1 評価できない。0%	・とても素晴らしい取り組み。より多くの人に参加してもらい、知ってもらえるよう広報を頑張ってください。 ・中学生の参加により、図書館への集客ならびに地域で盛んな俳句への関心を持つ機会となった。 ・一般市民(大人)が俳句を鑑賞するだけでなく、一歩進んで、俳句を発句できるまで専門家から指導してほしい。 ・俳句のコーナーを設けて展示したり、講演会を実施したり、中学生から俳句を募集して展示しているのは素晴らしいと思う。 ・継続を。
子ども・社会・読書融合型を推進する	◇全館共通評価項目	子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続する。事業の充実を図るため、3歳児健診会場でアンケートを実施するなど、今までのブックスタート事業の検証を行う。 ・【新規】ブックスタート事業を当館で担当して実施 24回実施、513人参加(参加率97.9%) ・ブックスタートアンケートの実施協力	・亀田図書館でブックスタートを担当し、ほぼすべての対象者から参加してもらったことで、乳幼児期の読書活動について広く働きかけることができた。	3 大変評価する。90% 2 ある程度評価する。10% 1 評価できない。0%	・幼い頃からの読書習慣の育成はとても大切。市の子育て事業とも連携して実施してはどうか。 ・3歳児検診会場でアンケートを実施したり、乳幼児期から読書に親しめる環境づくりを、図書館から出かけて行って行っているのは素晴らしいと思う。 ・継続を。
	◆館の重点評価項目	子どもの読書活動を支えるボランティアの養成・支援	・読み聞かせボランティア養成講座を実施するとともに、ボランティアとの協働により「おはなしのじかん」などの事業を実施する。 ・【新規】読み聞かせボランティア養成講座 19人参加 ・【拡充】おはなしのじかんの実施 42回、498人参加 ・赤ちゃんタイムおはなしのじかんを新規実施(前年度比10回増、166人増)	・養成講座の実施により、学校や地域で活動するボランティアを育成するとともに、さらなる協力を得ておはなしのじかんを拡充して実施し、参加者増につなげることができた。	3 大変評価する。100% 2 ある程度評価する。0% 1 評価できない。0%	・学校としても大変役立っている。今後とも継続した取り組みをお願いする。 ・図書館から積極的に外へ出て養成講座を開催したことで、学校ボランティア育成の助けとなった。 ・養成講座実施の定着を希望。また、館の事業として募集をオープンにし、広く参加できるとよい。 ・ボランティア養成講座を実施し、学校や地域で「おはなしのじかん」を実施しているのは良いことなので、継続してほしい。
パブリックアートと協働を推進する	◇全館共通評価項目	ボランティアや教育機関、民間団体等との協働	・中学生の職場体験学習受け入れ 中学校4校7人 ・ジョブトレ受け入れ(新潟地域若者サポートステーション) 2人 ・配架・書架整理ボランティアの活動受け入れ 197回、216人 ・【再掲】ブックスタート事業 ・【再掲】読み聞かせボランティア養成講座(学校・教育支援センターとの連携) ・【再掲】おはなしのじかん ・【再掲】中学生俳句作品展示会	・各種事業を通して、教育関係機関や市民と協働し、図書館をより多くの市民の暮らしに役立てる機会を作ることができた。	3 大変評価する。60% 2 ある程度評価する。40% 1 評価できない。0%	・学校としても大変役立っている。今後とも継続した取り組みをお願いする。 ・中学生の職場体験学習や、養護学校生徒のボランティア活動の受け入れをしていて良いことと思う。書架整理のボランティアも、図書館を身近に感じる機会になっている。 ・継続を。
	◆館の重点評価項目	地元の産業界との協働促進	・地元商工会議所や商店会、農業関係者及び区の産業振興課との協働により事業を実施する。 ・アスパークまつりへの参画 ・「まちゼミかめだ」への協力	・2件の事業を通して、地域の産業界とも協働を進め、多面的な利用拡充を進めることができた。	3 大変評価する。30% 2 ある程度評価する。70% 1 評価できない。0%	・アスパークまつりへの参加協力は、図書館を身近に知ってもらえる良い機会になっていると思う。しおりもオリジナルでかわいいと思う。 ・継続を。